

伊勢市(北陸・中部ブロック)

【計画期間 平成28年4月～33年3月】

- ・おはらい町のある宇治は内宮の鳥居前町、中心市街地区域に該当する山田の町は外宮の鳥居前町として発展し、地域固有の歴史、文化が発達した。
- ・第62回式年遷宮(平成25年)を契機に年間1千万人を超える神宮参拝客が訪れている。
- ・人口127,868人(平成27年国勢調査) 面積208.35Km²

【中心市街地をめぐる状況】

- JR伊勢市駅、近鉄伊勢市駅、近鉄宇治山田駅があり、交通の要となっている。
- 都市機能や商業系土地利用が集積しているが、大型商業施設の退店により求心力が低下している。
- 神宮関連施設やかつて問屋街として栄えた河崎地区など多くの歴史的資源がみられる。

【中心市街地に関する指標の推移】

- 商店街の歩行者通行量
H20年度:4,619人→H25年度:3,706人(▲913人、▲20%)
- 空き店舗率
H20年度:27.4%→H25年度:31.6%(4.2%)

【目指す中心市街地像】

暮らしやすく、また訪れたいくなる 伊勢のまち

目標	指標	現況値	目標値
中心市街地の魅力増進によるにぎわいの創出とまちなかの回遊性の向上	商店街の歩行者通行量	2,957人/日 (H26年度)	3,105人/日 (H32年度)
商店街の魅力創出による商業の活性化	空き店舗率	33.9% (H26年度)	26.4% (H32年度)
都市機能の強化によるまちなか居住の促進	人口の社会増減	△160人 (H22～26年度の合計)	±0人 (H28～32年度の合計)

中心市街地の魅力増進によるにぎわいの創出とまちなかの回遊性の向上

- 【主要事業】
- ・伊勢市駅前地区第一種市街地再開発事業
 - ・優良建築物等整備事業
 - ・伊勢やまだ大学事業
 - ・河崎まちなみ環境整備事業
 - ・まちなか案内事業
- など

商店街の魅力創出による商業の活性化

- 【主要事業】
- ・伊勢市駅前地区第一種市街地再開発事業(再掲)
 - ・商業魅力アップ支援事業
 - ・商店街空き店舗対策事業
 - ・中心市街地の魅力創出事業
 - ・伊勢やまだ大学事業(再掲)
- など

都市機能の強化によるまちなか居住の促進

- 【主要事業】
- ・伊勢市駅前地区第一種市街地再開発事業(再掲)
 - ・JT用地活用事業
 - ・伊勢市駅北口広場等整備事業
 - ・まちなか定住促進事業
- など

伊勢市中心市街地活性化基本計画の事業概要

中心市街地の魅力増進による にぎわいの創出とまちなかの回遊性の向上

①伊勢市駅前地区第一種市街地再開発事業

伊勢市駅前地区の再開発事業により土地の高度利用を促し、商業・住宅・福祉施設等の都市機能の集積を図る。



②優良建築物等整備事業

伊勢市駅の南側において優良建築物等整備事業による宿泊施設を整備し、再開発を誘導する。



③河崎まちなみ環境整備事業

「伊勢の台所」とも呼ばれ、問屋街としてにぎわいをみせた河崎本通とその周辺の歴史的なまちなみを保全をするなどし、来訪者の回遊性の向上を図る。



商店街の魅力創出による商業の活性化

○伊勢やまだ大学事業

伊勢の文化や歴史等を学べる場として山田地区を中心に市民大学を開設するほか、特別講座や伊勢やまだ大学文化祭などを催し、恒常的な集客に繋げる。



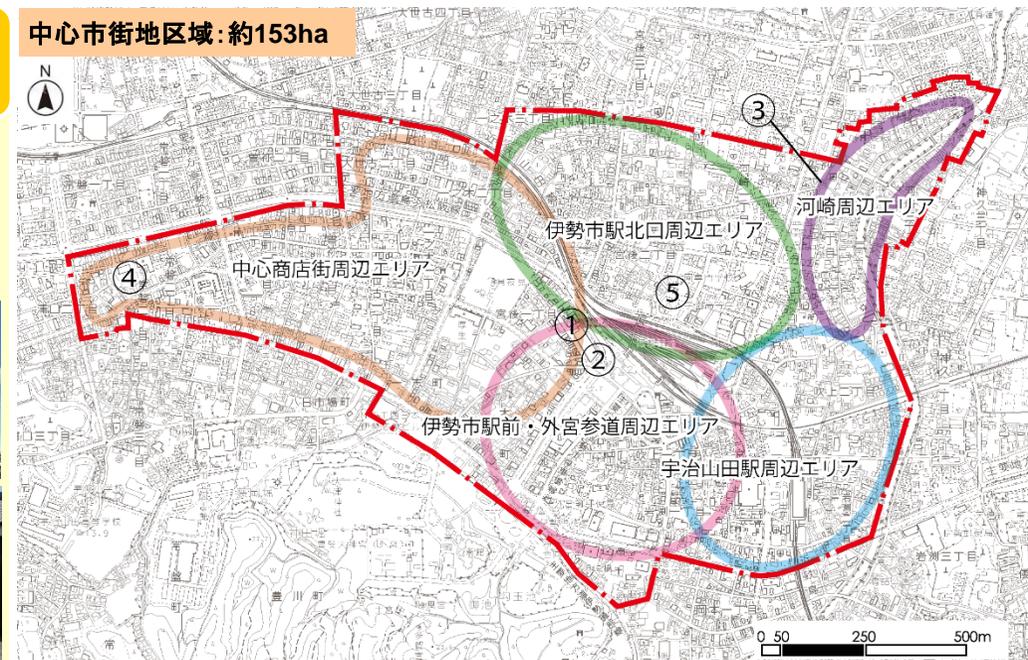
○商業魅力アップ支援事業

地域住民や観光客のニーズに応えた商業環境の整備やにぎわいの創出に新たに取組む団体に対して事業費の一部を補助し、商業の活性化を図る。

○商店街空き店舗対策事業

中心市街地における商店街等において、商業の振興を目的とする事業に対して補助を行うことで空き店舗を減少させ、商業の活性化を図る。

中心市街地区域:約153ha



都市機能の強化によるまちなか居住の促進

④JT用地活用事業

クリニックの開設、在宅の看護や介護を提供するほか、地域児童交流スペースやカルチャー教室などを設けることで、地域住民らとの交流を図る三世代交流施設を整備する。



⑤伊勢市駅北口広場等整備事業

伊勢市駅北口広場とそれに連なる街路整備を行い、交通結節点の機能を充実させることで都市機能の強化や利便性の向上を図る。

